

2 自分の発想でできる魅力的で面白い職業です

山下(旧姓高須) 裕加里

(平成 18 年度花き園芸学科卒)

就農年	平成 25 年
就農地	茨城県行方市
主な作物	施設鉢花 (チューリップ、ヒマワリ、など)



季節の花に囲まれたゆとりある暮らしを提案したい

【農大入学を決意したきっかけ】

高校卒業後、服飾の学校に入学し東京で一人暮らしをしている時に、偶然、花屋の店先で自分の家から出荷されたチューリップを見つけました。この時、花が当たり前にある家の環境が恋しくなり、実家の農業を継ぎ、花を生産したいと思いました。そして、父に相談をしたところ、農業大学校で花の勉強をすることを勧められたことが、入学のきっかけになりました。

その時点では、農業の「の」の字も知らず、農業大学校の入学試験の面接で、「お米の品種を教えてください」との質問に、イチゴの品種の「とちおとめ」と答えて面接官の先生に失笑されてしまうくらい農業のことを知りませんでした。

【在学中の思い出（印象深い出来事）】

在学中の一番の思い出は、2年生の時に、一ヶ月泊まり込みで行われる先進農家派遣実習です。シクラメンをメインに栽培されている農家さんで出荷の方法や栽培の手順を勉強させていただきました。また、夕食時にご主人から人生のあり方について色々話を伺ったことが印象に残っており、今でもこの派遣実習の時の体験は、特別に濃い生活をした忘れられない思い出です。

【就農を決意したきっかけ】

農業大学校を卒業後、花の卸会社に就職して、営業の仕事に就き多忙な日々を送っていました。しかし、妹が結婚して嫁に行くことをきっかけに、会社を辞め茨城に戻り親元で就農することを決断しました。当時、同じ職場でお付き合いをしていた現在の夫に相談したところ、快く「一緒に花き生産をする」と言ってくれたので、結婚して一緒に就農しました。

【現在の取り組み】

近々、両親から経営移譲をされる予定です。両親が築き上げてきた「高須花園」ブランドの商品を、安定させながらより良い物に出来るように生産技術を日々勉強中です。また、その商品にさらに付加価値をつけられるようなラベルやポップ作りをしています。

他にも私自身の女性の感性で新商品の企画作りにも取り組んでいます。そういった商品や育て方などを、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSに投稿して売り込みや一般の方に向けたPRをしています。



可愛いポップで初心者にも手に取ってもらえるように

【これからの夢や目標】

まず、近い目標ですが、両親から経営を継いで経営者になることです。そして、私たち夫婦で経営を安定させ自分たちの代での雇用を生みだしたいです。売り上げを伸ばすことで自分たちの自信に繋がり、新たな商品企画など次の仕事につながります。

そして、行方市の花生産者として、地域に寄り添いながら花とみどりに囲まれたまちづくりを提案していきたいです。まずは、行方市のイベントに出展したいと思っています。



高須花園の強みを生かした花づくりを

【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

今、農業は法人化が進んで非農家の方でも就職して農業を行なえます。また、後継ぎが女性でも農業を始めやすい時代になったと思います。そして、農業は自分の発想で仕事ができ、魅力的で面白い職業だと思います。

親元就農する方は、親元に入る前に一歩外へ出ていろいろなことを経験したほうが良いと思います。若い時は様々な人がたくさんいることを教えてくれるし、就農前に学生の仲間の他に知り合いを作っておくことは大事で、後のビジネスに繋がると思います。



筆者は最前列の右から4番目
女性農業経営者育成講座に参加して